



南 11月26日(火) 防災対策課 ☎ 57-8501 南海トラフ巨大地震に備える協定

将来発生することが想定される南海トラフの巨大地震等に備えるため、平常時における防災・減災対策活動への協力を行う協定を(株)フタガミと締結しました。

この協定では、被災前の対策に重点を置き、災害に強いまちづくりを行うため、自主防災組織や学校教育機関などで防災セミナーを実施し、家具の転倒防止やガラスの飛散防止対策など、被災時に生き残るための技術的な助言を行います。

同日、ふれあいセンターで市職員を対象にした防災セミナーも実施され、自宅で3分の1を過ごす寝室の防災措置などについて助言を受けました。



竜 12月10日(火) 防災対策課 ☎ 57-8501 竜巻・突風による被害状況について

市内南部を中心に吹き荒れた突風(竜巻)により、家屋の屋根が飛ばされたり、ビニールハウスが倒壊するなどの被害が発生しました。12月13日現在、家屋の被害が49件、農業用ビニールハウスの被害が346件(被害総額約2億3千万円)など、甚大な被害が出ています。

災害被害に関する問い合わせ・相談は下記までお願いします。



▲被害にあった新道公民館

- 被災証明に関すること
防災対策課 ☎ 57-8501
- 農業に関すること
農林課 ☎ 57-7517
- 廃棄物等に関すること
環境対策課 ☎ 57-8508
- 健康に関すること
健康対策課 ☎ 57-7516
- 生活に関すること
福祉事務所 ☎ 57-8509

健康対策課 ☎ 57-7516 しっかり食べよう朝ごはん

朝ごはんの大切さを知ってもらおうと、香南市食育推進会議が市内の保育所と幼稚園の保護者、小学校・中学校・城山高校の児童生徒から朝ごはんのレシピを募集し、レシピ集『元気いっぱい朝ごはん』を作成しました。

応募のあったレシピを冊子にまとめ配布することで、児童生徒と子育て中の保護者の方に、朝ごはんの大切さを理解してもらい、バランスの良い食事と健康な身体作りに役立ててもらおうことを目的としています。

完成したレシピ集は、子どもを通じて各家庭へ配布するとともに、市の子育て支援等でも活用する予定です。



防 防災対策課 ☎ 57-8501 防災行政無線(有線)放送のお知らせ



広報11月号でお知らせしましたように、災害時の迅速で正確な情報伝達を行うため、今年度から市内全地区へデジタル式同報防災行政無線を導入します。

この整備にあたり、現在、行政無線(有線)放送設備が設置されている地区で下記のようなことがあれば防災対策課までご一報ください。

- スピーカーに不具合がある
- 音声が聞こえにくい、または聞こえない

江戸時代の町並みに思いをはせる

11月2日(土)香我美町文化協会が歴史巡りを開催し、27人の参加者が江戸時代に商いの町として栄えた岸本地区の町並みや文人たちの功績を学びました。

香南市の歴史巡り案内人の広井伸子さんが講師となり、国立歴史民俗資料館に復元されている橋本家の「ぶっちょう」や、参勤交代の時に藩主を見下ろすことがないよう家の造りが中2階建てになっていることなどを説明。高知県の近代詩を確立した詩人・岡本弥太の甥である野村土佐夫さんからは、詩碑が高村光太郎の揮毫であることなどの裏話が紹介されました。



▲岸本地区に残る安政地震の碑に見入る参加者
※1 ぶっちょう…上げ下げ式の涼み台(緑側)
※2 揮毫(きごう)…毛筆で何か言葉や文章を書くこと



▲イベント中は、商店街全体が独特の雰囲気になります

昔 第19回「冬の夏祭り」 昔は未来～赤岡町で逢いましょう～

11月30日(土)～12月1日(日)赤岡町横町商店街を中心に冬の夏祭りが開催され、両日で約7,000人が訪れました。

今年のテーマは「昔は未来」。作家たちの手作りの品や、料理人の出店が長さ約200mほどの商店街に所狭しと並びました。

両日も晴天に恵まれ、昔ながらの衣装を着て楽しんだり、祭りの名物となっている路上に置かれたこたつでくつろいだりと、子どもからお年寄りまでが楽しんでいました。



子 赤岡町少年防災クラブ・小学校区学校支援地域本部がダブル受賞 子どもたちの防災意識向上は地域ぐるみで!

12月2日(月)赤岡小学校にて、赤岡町少年防災クラブ(同小全児童が加入)が、防火防災の学習や普及とクラブ員の成長に大きな成果があることから、日本防火・防災協会から表彰を受け、久保壽男赤岡消防団長から表彰状の伝達を受けました。

また、赤岡小学校区学校支援地域本部が、平成25年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰を受賞。児童に対する、地域ぐるみでの防災活動と防災意識の向上に大きく寄与したことが高く評価されています。



▲児童会のメンバーが代表で表彰状を受け取りました

山 第2回土佐塩の道トレイルランニングレース 道を自分の足で駆け抜ける

12月8日(日)第2回土佐塩の道トレイルランニングレースが開催されました。コースは、香美市奥物部ふれあいプラザから、文代峠を経由するアップダウンの激しい山道を通り、香南市香我美町山北までの26km。地元の方からの温かい声援を受け、参加者たちは古道塩の道を駆け抜けました。

ゴールでは地元料理やじゃんけん大会で大盛り上がり。参加者からは「温かい雰囲気のローカルレースで来年もまた参加したい」との声も聞かれ、大好評の大会となりました。



▲舗装道から未舗装の山道へ。どんな道も走ります